

祐天寺駅周辺地区整備構想

令和元年7月

目 黒 区

【目次】

祐天寺駅周辺地区整備構想の策定の背景と役割	1
1. 祐天寺駅周辺地区整備構想の策定の背景.....	1
2. 街づくり等の取組状況	1
3. 祐天寺駅周辺地区整備構想の果たす役割.....	2
4. 目標年次	2
第1章 祐天寺駅周辺地区の現状と課題	3
1. 地区の範囲	3
2. 本地区の成り立ち	4
3. 上位・関連計画等	5
4. 人口・世帯等の現状と課題.....	7
5. 土地・建物利用の現状と課題.....	10
6. 交通環境の現状と課題	13
7. みどり・公園・景観の現状と課題	19
8. 安全・安心（防災・防犯・コミュニティ）の現状と課題.....	21
第2章 地区の将来像と目標.....	27
1. 地区の将来像.....	27
2. 街づくりの目標.....	28
第3章 街づくりの方向性	29
第4章 街づくりの進め方	35
1. 基本的な考え方.....	35
2. それぞれの主体が果たすべき役割	36
3. 段階的な取組の実践	37
参考資料	38
1. 目黒区地域地区図（平成30年11月現在）	38
2. 地震に関する地域危険度測定調査（第8回）【東京都】	40
3. 目黒区の土地利用2017【平成30年3月 目黒区】	41
4. めぐる防災マップ【目黒区】	42
5. 祐天寺駅周辺地区整備構想の策定に関する取組	43

祐天寺駅周辺地区整備構想の策定の背景と役割

1. 祐天寺駅周辺地区整備構想の策定の背景

「目黒区都市計画マスタープラン（平成16年3月策定）」で、祐天寺駅周辺地区（以下「本地区」という。）は、「商業施設をはじめ地域コミュニティを支える多様な都市機能、子どもから高齢者まで、だれもが利用しやすい道路や公共施設が整備され、日常的な活動や交流の中心となる拠点」として地区生活拠点に位置づけられています。

また、本地区の一部は老朽化した木造住宅が密集しており、「上目黒・祐天寺地区」として、上目黒2丁目、祐天寺1・2丁目、五本木2丁目の一部を対象に昭和62年度から平成18年度までの期間に木造住宅密集地域整備事業を活用し、不燃化の促進、オープンスペースの確保、生活道路の整備により災害に強い街づくりを進めてきました。また、近隣商店街にふさわしい建物の整備・誘導を目的とした「祐天寺栄通り地区地区計画」が平成2年1月に策定されました。

平成25年度から平成30年度まで、祐天寺駅改良工事（通過線新設工事・駅舎改修）及び駅ビルの建設で、改札口が増設され、駅周辺の歩行者動線が変化しています。平成29年度に駅周辺の町会、自治会及び商店会の代表者による「祐天寺ロータリーを考える会」が結成されました。会は、自主的な勉強会を重ね、平成29年6月に駅前広場の整備実現に向けた要望書を目黒区へ提出しました。

目黒区は平成30年度に、これらの本地区における街なみの変化や取組を踏まえ、「祐天寺駅周辺地区街づくり懇談会」を立ち上げました。この中で、区民の方々の意見を反映しながら地域特性や課題を把握し、具体的な市街地整備の展開を検討し、地区の実情に即したきめ細やかな街づくりを行うため、「祐天寺駅周辺地区整備構想（以下「整備構想」という。）」を令和元年度に策定しました。

この整備構想は、今後の本地区における街づくりの根幹を成すものであり、この内容を地元の方々と共有しつつ、地域住民、関係機関等と連携して、本地区の街づくりを進めていきます。

2. 街づくり等の取組状況

◇昭和62年度(1987年度)	・「上目黒・祐天寺地区」の木造住宅密集地域整備事業開始
◇平成2年度(1990年度)	・「祐天寺栄通り地区地区計画」の決定
◇平成12年度(2000年度)	・五本木ふれあい街かど公園開園
◇平成17年度(2005年度)	・祐天寺一丁目ふれあい公園開園
◇平成18年度(2006年度)	・「上目黒・祐天寺地区」の木造住宅密集地域整備事業終了 ・目黒中央中学校開校
◇平成25年度(2013年度)	・祐天寺駅改良工事（通過線新設工事・駅舎改修）開始
◇平成29年度(2017年度)	・田切公園改修 ・「祐天寺ロータリーを考える会」が目黒区に要望書を提出
◇平成30年度(2018年度)	・祐天寺駅改良工事完了 ・祐天寺駅ビル完成 ・祐天寺駅周辺地区街づくり懇談会発足

3. 祐天寺駅周辺地区整備構想の果たす役割

- 本地区の状況を把握し、街の変化に対応できる内容として、今後、取組むべき街づくりの基本的な方向性を示します。
- 本地区の将来像を定め、目標や街づくりの方向性に基づいて具体的な取組ができるように計画を体系化します。
- 地域のつながりを深めるため、街づくりに関わる様々な人たちが意見交換・交流する場を設け、地域コミュニティを活発にして街づくりが効果的に進められるようにします。

4. 目標年次

整備構想の目標年次は、概ね10年後とします。

なお、社会経済情勢の変化などに合わせ、必要に応じて見直します。